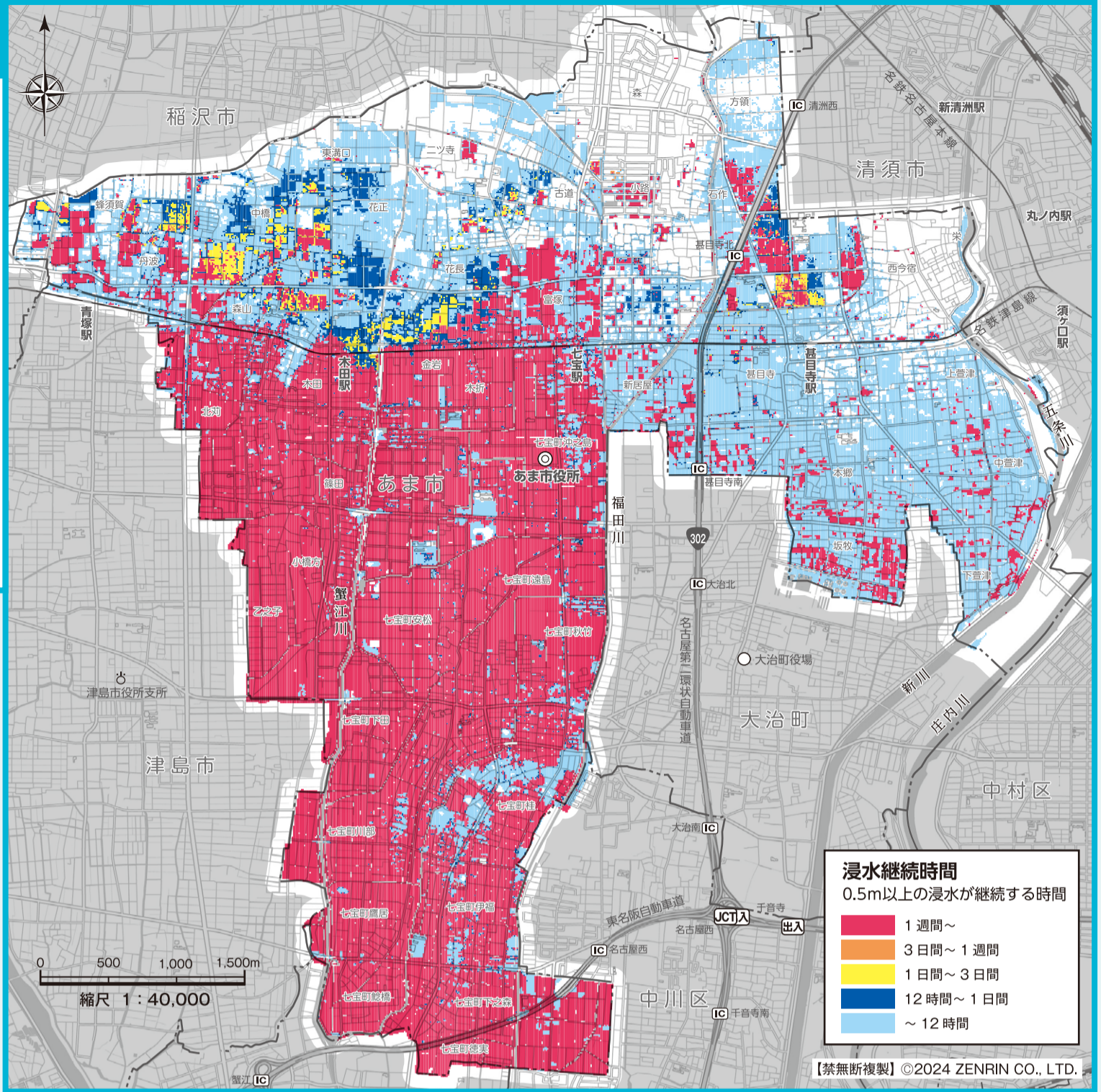


# 浸水継続時間

## 【浸水継続時間】0.5m以上の浸水が継続する時間

### 【留意事項】

- この図は、三河湾・伊勢湾沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が海岸や河川から発生した場合に、0.5m以上の浸水が想定される区域、想定される浸水継続時間を表示した図面です。
- 高潮浸水想定区域図の作成にあたっては、最悪の事態を想定し、日本に上陸した既往最大台風である「室戸台風」により、県内各地区に大きな影響を与える複数の経路を設定し、堤防・水門等は設計条件に達した段階で決壊するものとして、高潮シミュレーションを実施しています。
- 高潮浸水想定区域図は、地面の高さを基準とした浸水深を示したものであり、地下空間の浸水については反映していませんが、実際には、高潮が地下空間に流入する場合があります。
- 道路のアンダーパスや造船所のドック等、周辺の土地より極端に地盤が低い箇所では、局所的に浸水深が深くなります。
- 台風等により高潮が発生する状況では、同時に降雨も想定されるため、国轄河川及び県管理河川のうち、基本高水流量 1000 m<sup>3</sup>/s 以上の河川については、河川整備の目標とする降雨による洪水が同時に発生した場合を想定しています。
- 高潮による河川内の水位変化を図化していませんが、高潮の遡上により、海岸から離れた地域でも河川から浸水することが想定されます。
- 高潮浸水想定区域図では、高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響があること、想定していない雨水出水（内水）が発生すること等、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が深くなる場合があります。
- 現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではありません。
- 確かな避難のためには、気象庁が発表する台風情報や、あま市等が作成するハザードマップ等を活用してください。



**浸水継続時間**  
0.5m以上の浸水が継続する時間

- 1週間～
- 3日間～1週間
- 1日間～3日間
- 12時間～1日間
- ～12時間

## 災害用伝言ダイヤル171

災害用伝言ダイヤル 171 は、災害発生により被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に利用できます。利用ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生を行ってください。

### 録音方法

**171**

↓ ガイダンスが流れます ↓

**1**

↓ ガイダンスが流れます ↓

**052- - - - -**

被災地の方の自宅等の電話番号を市外局番からダイヤルしてください

↓ ガイダンスが流れます ↓

**録音**

30秒以内でお話してください

### 再生方法

**171**

↓ ガイダンスが流れます ↓

**2**

↓ ガイダンスが流れます ↓

**伝言再生します**

## 高潮とは

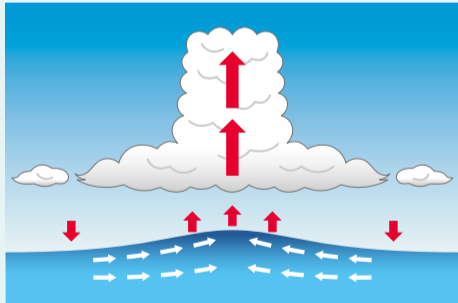
台風など強い低気圧が来襲すると、波が高くなると同時に海面の水位も上昇します。これを高潮といいます。高潮も波の一種ですが、周期が数時間と非常に長いので、波というよりむしろ海の水位が全体的に上昇する現象となります。海水のボリュームがけた違いに大きいので、一旦浸水が始まると、低地には浸水被害が一気に広がることとなります。

## 高潮発生メカニズム

高潮は、主に「気圧低下による吸い上げ効果」と「風による吹き寄せ効果」が原因となって起こります。また、満潮と高潮が重なると高潮水位はいっそう上昇して、大きな災害が発生しやすくなります。

### 気圧低下による吸い上げ効果

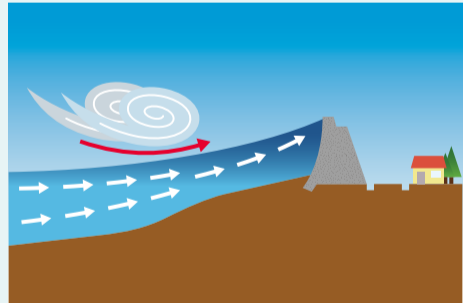
台風や低気圧の中心では気圧が周辺より低いので、気圧の高い周辺の空気は海水を押し下げ、中心付近の空気が海水を吸い上げるように作用する結果、海面が上昇します。



気圧低下による吸い上げ効果のイメージ

### 風による吹き寄せ効果

台風や低気圧に伴う強い風が沖から海岸に向かって吹くと、海水は海岸に吹き寄せられ、海岸付近の海面が上昇します。



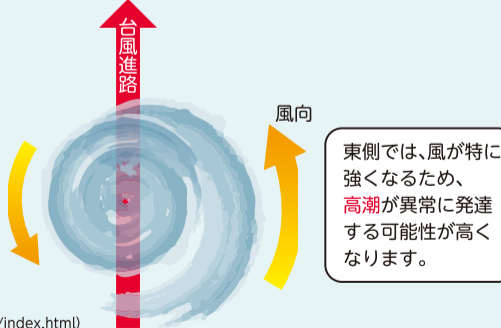
風による吹き寄せ効果のイメージ

## 高潮に対して危険な地域

高潮の規模は台風の規模や通過するコースに大きく影響されます。台風は、地上付近では上から見て反時計回りに強い風が吹き込んでいます。台風の進行方向に向かって右の半円では、台風の移動方向と風向きが同じであるため風が強くなります。

湾口が南側に面し、湾の軸が台風の進路と一致する場合には、高潮が生じやすくなります。伊勢湾は高潮の起こりやすい条件を備えており、危険な地域といえます。

西側でも、地形によって高潮が発達する可能性がありますので、油断は禁物です。



東側では、風が特に強くなるため、高潮が異常に発達する可能性が高くなります。

出典:国土交通省ウェブサイト (https://www.mlit.go.jp/river/kaigan/main/kaigandukuri/takashiobousai/index.html)

## 情報を入手する

緊急性の高い情報は広く広報しますが、より確実に情報を受け取るためには災害の恐れが高まっていると感じたら自らテレビ・ラジオ・インターネットなどで情報を取りに行く姿勢が重要です。

あま市公式ウェブサイト

気象庁

あま市防災情報メール

高潮などの自然災害における避難所開設等の情報をメールでお知らせします。利用するには事前の登録が必要です。登録は無料(メール受信に係る通信料は利用者の負担)

登録はこちら

登録方法は こちらを参照

## 災害時の避難情報等を無料で固定電話にお知らせします

携帯電話やスマートフォンをお持ちでない方やメールを見ることができない方を対象に、防災情報を固定電話にお知らせします。申し込み先・問い合わせ先: あま市 市長公室 危機管理課 052-444-0862

## 高潮に関する防災気象情報を活用した避難行動について

気象状況	気象庁の情報	市町村の対応	住民が取るべき行動	警戒レベル
高潮による浸水が発生		緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	命の危険 直ちに安全確保! すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	5
台風最接近の数時間前			《警戒レベル4までに必ず避難!》	
暴風域に入る	高潮警報 または高潮特別警報	避難指示	危険な場所から全員避難 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	4
暴風域に入る数時間前	高潮警報に切り替える可能性が高い 高潮注意報	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	3
台風最接近の1日～半日前	高潮注意報		自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	2

※暴風警報や強風注意報は警戒レベル相当情報ではありませんが、暴風が吹き始める前に避難を完了しておくことが重要です。「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

出典:気象庁ホームページ https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knowname\_chuui/ame\_chuui\_p8-3.html

## 非常持ち出し品 チェックリスト

貴重品	情報収集用品	清潔・健康のためのもの	便利品など	その他
<input type="checkbox"/> 現金(小銭を含む) <input type="checkbox"/> 車や家の予備鍵 <input type="checkbox"/> 予備の眼鏡、コンタクトレンズなど <input type="checkbox"/> 銀行の口座番号・生命保険契約番号など <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> 身分証明書(運転免許証、パスポートなど) <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 母子健康手帳	<input type="checkbox"/> 携帯電話(充電器を含む) <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ(予備電池を含む) <input type="checkbox"/> 家族の写真(はぐれた時の確認用) <input type="checkbox"/> 緊急時の家族、親戚、知人の連絡先 <input type="checkbox"/> 広域避難地図 <input type="checkbox"/> 筆記用具 <b>食糧など</b> <input type="checkbox"/> 非常食 <input type="checkbox"/> 飲料水(3日以上、可能な限り1週間分程度)	<input type="checkbox"/> 救急セット <input type="checkbox"/> 常備薬・持病薬 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> トイレトペーパー <input type="checkbox"/> 着替え(下着を含む) <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> 歯ブラシ <input type="checkbox"/> 消毒液・石鹸	<input type="checkbox"/> 防災頭巾またはヘルメット <input type="checkbox"/> 懐中電灯(予備電池を含む) <input type="checkbox"/> 笛やブザー(音を出して居場所を知らせるもの) <input type="checkbox"/> 万能ナイフ <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> アルミ製保温シート <input type="checkbox"/> 毛布	<input type="checkbox"/> スリッパ <input type="checkbox"/> 軍手または皮手袋 <input type="checkbox"/> マッチまたはライター <input type="checkbox"/> 給水袋 <input type="checkbox"/> 雨具(レインコート、長靴など) <input type="checkbox"/> レジャーシート <input type="checkbox"/> 簡易トイレ <input type="checkbox"/> 紙おむつ(子ども用・高齢者用) <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> 粉ミルク・哺乳瓶・液体ミルク <input type="checkbox"/> 体温計・マスク(感染症予防対策用) <input type="checkbox"/> ビニール手袋 <input type="checkbox"/> その他自分の生活に欠かせないもの

地震などの広域災害の場合、救援物資がすぐ被災地に届くわけではありません。非常持ち出し品、3日以上(可能な限り1週間分程度)の飲料水と食糧、医薬品等を日ごろから準備しておきましょう。